

## 廃棄物等に関する意識調査（建設業用）

本調査票は、「産業廃棄物実態調査票」とあわせてご返送ください。  
以下の質問項目について貴社の立場で該当する番号に○をつけてください。  
なお、事業と無関係と思われる質問には空欄のままで結構です。

社名 \_\_\_\_\_

### 問1. 産業廃棄物の適正処理（不法投棄や不適正処理の防止）について

①事業活動によって発生する産業廃棄物の適正処理（不法投棄や不適正処理の防止）をすすめるために、排出事業者としてどのような点に留意していますか。あてはまる全ての番号に○をつけてください。（複数回答可）

1. 委託する産業廃棄物に関する許可を有していることを、処理業者の許可証で確認している。
2. マニフェストにより産業廃棄物が適正に処理されたかどうかを確認している。
3. 複数の処理業者から見積りを取り、適正な料金かどうかを確認している。
4. 現地確認等により、処理業者が適正処理を行っているかを確認している。
5. その他: 具体的に \_\_\_\_\_

②建造物の解体や新・改築に際して発生する産業廃棄物の適正処理をすすめるために、現在の建設業界に必要な視点はどのようなことだと思われますか。あてはまる全ての番号に○をつけてください。（複数回答可）

1. 発注事業者又は元請企業のリサイクルや廃棄に対する理解の促進
2. 発注事業者又は元請企業からのリサイクルや廃棄のための料金等の適正化
3. 解体や建設期間の適正化（無理な工期短縮をなくす）
4. 発注事業者又は元請企業と解体業者との直接契約の促進
5. 中間処理や最終処分料金を抑制してほしい
6. 建設業界、解体業界内での適正処理教育の強化
7. その他: 具体的に \_\_\_\_\_

### 問2. 産業廃棄物処分の委託先の選定等について

①貴社は産業廃棄物処分の委託先の選定にこれまで苦慮したことはありますか。

1. はい
2. いいえ
3. どちらでもない

※はいと記載した事業者様は、選定に苦慮した点と対応例を以下に記載してください。

選定に苦慮した点

( \_\_\_\_\_ )

(記載例 処分料金が低い。処分業者が近隣にいない。)

対応例

( \_\_\_\_\_ )

(記載例 処分業者の組合に紹介してもらった。自分でインターネットで調べた。)

②産業廃棄物の適正処理を確保するため、排出事業者が処分先を選定する際のポイントとして考えられる点について、あてはまる全ての番号に○をつけてください。(複数回答可)

1. 処理施設が近場にあること
2. 処分料金が適切であること
3. 環境に配慮した資格等(例:ISO、エコアクション21等)を有していること
4. 優良認定処理業者であること
5. 継続して産業廃棄物の処分を委託できること
6. 行政など公的機関が整備した処理施設であること
7. その他:具体的に

### 問3. 建造物の解体や改築に際して発生する建設系廃棄物のリサイクルについて

①建設リサイクル法で定義する特定建設資材（コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト・コンクリート）のリサイクル状況にあてはまる番号に○をつけてください。

1. 可能なものは全量リサイクルしている
2. リサイクルを進めているが、まだリサイクル量を増やす余地がある
3. リサイクルはあまり行っていない
4. その他:具体的に

②上記で3と回答された事業者様にお聞きします。その理由としてあてはまる番号全てに○をつけてください。(複数回答可)

1. 適正なリサイクル業者が周囲にない
2. リサイクル費用が高い
3. 分別する費用や労力が賄えない
4. 分別するほど運搬費用がかさむ
5. 最終処分料金(埋立)の方が安い
6. 建設リサイクル法には罰則がないから
7. その他:具体的に

③解体工事等によって排出されるコンクリート塊については、中間処理（破碎）業者に委託し、再生利用することが多いと思いますが、近年、処理業者に処理を委託する際、懸念されることや課題等がありますか。あてはまる全ての番号に○をつけてください。(複数回答可)

1. 廃コンクリートの発生量が多く、処理現場が逼迫していると感じる
2. 再生碎石の在庫が過剰で、処理業者からの受入れを断られたことがある
3. 地域によって需要と供給の差があり、遠方(県外等)の処理業者へ委託せざる得ないことがある
4. 高品質のコンクリート塊しか受け入れてくれないことがある
5. 特に懸念や課題等もない
6. その他:具体的に

④貴社における特定建設資材以外の廃棄物のリサイクル状況にあてはまる番号に○をつけてください。

1. リサイクルできている
2. リサイクルできていない

⑤上記④で1と回答された事業者様にお聞きします。主にリサイクルされているものとしてあてはまるもの全ての番号に○をつけてください。(複数回答可)

- |              |       |          |           |       |        |
|--------------|-------|----------|-----------|-------|--------|
| 1. 汚泥        | 2. 瓦  | 3. トタンや釘 | 4. タイルや外壁 | 5. 壁紙 | 6. 流し台 |
| 7. 配線(銅線)    | 8. 床材 | 9. ガス設備  | 10. 配電盤   |       |        |
| 11. その他:具体的に |       |          |           |       |        |

#### 問4. 建物等の新築や改築、土木工事の際の再生利用品の使用について

①再生品(リサイクル品)がある場合、それらをどの程度使用していますか。(複数回答可)。  
(利用頻度に○を付した上で、再生品の種類を回答ください)

再生品の例: 再生砕石・再生土(汚泥等処理後物の再生資源)・溶融スラグ・エコセメント

- |                  |          |   |
|------------------|----------|---|
| 1. よく使う          | (再生品の種類: | ) |
| 2. たまに使う         | (再生品の種類: | ) |
| 3. ほとんど使わない      | (再生品の種類: | ) |
| 4. 全く使わない        | (再生品の種類: | ) |
| 5. 再生品を使用する工事が無い |          |   |

②再生品を使用する理由は何ですか。あてはまる全ての番号に○をつけてください。(複数回答可)

1. 公共工事の特記仕様書に優先利用の定めがあるから
2. 価格が安価だから
3. 発注事業者又は元請企業から指定があったから
4. 品質を十分に満足しているから
5. 供給量が安定しており、必要な時に入手できるから
6. その他:具体的に

③再生品を使用しない理由は何ですか。あてはまる全ての番号に○をつけてください。(複数回答可)

1. 異物混入等の品質に不安を感じるから
2. 製造業者によって品質にばらつきがあるから
3. 供給量にムラがあり、必要な時に利用できないから
4. 製造者が遠方にしかなく、運搬料が高くなるから
5. 公共工事の特記仕様書に優先利用の定めがないから
6. 価格が高価だから
7. 発注事業者又は元受け企業から指定がなかったから
8. その他:具体的に

#### 問5. 新築や解体現場から出る廃石膏ボードについて

①廃石膏ボード水平リサイクル促進コンソーシアムの資料では、今後建築物の解体が増加するため石膏ボードの廃棄量が2050年には300万tを超えるとされています。貴社として今後廃石膏ボードの排出量はどのように推移すると考えますか。あてはまる番号に○をつけてください。

- |         |          |          |
|---------|----------|----------|
| 1. 増える  | 2. やや増える | 3. 変わらない |
| 4. やや減る | 5. 減る    | 6. わからない |

②貴社における廃石膏ボードのリサイクル状況にあてはまる番号に○をつけてください。

1. リサイクルできている
2. リサイクルできていない

③上記②で2とご回答の事業者様にお聞きします。リサイクルが困難な理由として該当する全ての番号に○をつけてください。（複数回答可）

1. 適正なリサイクル業者が周囲にない
  2. リサイクル費用が高い
  3. 分別する費用や労力がかかりメリットがない
  4. リサイクルは環境にとっていいとは思えないから
  5. その他:具体的に
- 

## 問6. 廃プラスチックに関する取組について

①国では令和元年に「プラスチック資源循環戦略」を策定し、令和4年からは「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行され、廃プラスチックの排出抑制と再資源化の取組の促進が図られています。

貴社における廃プラスチックの排出抑制と再資源化の取組について、あてはまる番号に○をつけてください。

1. 既に廃プラスチックの削減・再資源化が進んでおり、さらに取組を促進する必要はない
2. 廃プラスチックの削減・再資源化に取り組んでおり、今後もさらなる促進が必要
3. 廃プラスチックの削減・再資源化はあまり進んでいないが、今後取り組む予定
4. 廃プラスチックの削減・再資源化はあまり進んでおらず、今後取り組む予定はない
5. 廃プラスチックの排出がない

②上記①で「1～3」と回答した事業者様にお伺いします。

貴社で取り組んでいるまたは取り組む予定の廃プラスチックの排出抑制または再資源化の取組について、あてはまる全ての番号に○をつけてください。（複数回答可）

1. 製造するプラスチック使用製品の材料減量化、包装の簡素化、単一素材化、分解・分別の容易化等
  2. 製造するプラスチック使用製品のプラスチック以外の素材への代替、再生プラスチックの利用、バイオプラスチックの利用等
  3. 使い捨てプラスチック使用の見直し・合理化による排出削減
  4. 廃プラスチックの再資源化(マテリアルリサイクル)
  5. 廃プラスチックの再資源化(ケミカルリサイクル)
  6. 廃プラスチックの再資源化(サーマルリサイクル)
  7. その他:具体的に
-

③上記①で「1～3」と回答した事業者様にお伺いします。

廃プラスチックの排出抑制または再資源化の取組をさらに推進するためには、どのような支援等が必要ですか。あてはまる全ての番号に○をつけ、必要な支援例を具体的に記載してください。

1. 技術的支援（ ）  
（例：新しいリサイクル技術の導入、効率化のための機器の改善など）
2. 法規制の整備（ ）  
（例：廃プラスチックの取り扱いに関する規制の明確化や緩和など）
3. 経済的支援（ ）  
（例：補助金や助成金の提供、税制優遇など）
4. 情報共有（ ）  
（例：他社の成功事例や最新の研究結果の共有など）
5. 社内の教育・啓発（ ）  
（例：従業員への研修やセミナーの実施など）
6. その他：具体的に

④プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律では、事業活動に伴ってプラスチック使用製品産業廃棄物等を排出する事業者（小規模企業者等は除く）は、プラの排出抑制及び再資源化等の促進に取り組むことが求められており、特に前年度のプラ製品産業廃棄物の排出量が 250 トン以上 の事業者は“多量排出事業者”に該当し、排出の抑制・再資源化等に関する目標を設定し、その達成のための取組を計画的に実施することが求められています。

貴社で該当する番号に○をつけてください。

※「事業場」単位ではなく、貴社全体での排出量が算定対象となります。

1. 250 トン以上排出する多量排出事業者であり、計画書等を作成している
2. 250 トン以上排出する多量排出事業者であるが、特に取組を実施していない
3. 250 トン未満しか排出しない事業者である
4. 廃プラスチックの排出がない
5. 多量排出事業者かどうかわからない

⑤上記④で1と回答された事業者様にお聞きします。

目標の設定及び公表状況について以下に記載してください。

- ・ 排出の抑制に関する目標 ( )
- ・ 再資源化等に関する目標 ( )
- ・ 公表 有・無 どちらかに○をつけてください。

## 問7. 貴社での取組について

### 事業系一般廃棄物（紙くず、木くず、食品残渣等）の状況について

①廃棄物の発生抑制・リサイクルの推進に向け、貴社ではどのような取組をしていますか。あてはまる全ての番号に○をつけてください。（複数回答可）

1. ISO、エコアクション21などの環境マネジメントによる廃棄物対策の取組
  2. 廃棄物処理に関する管理体制の整備（責任者の設置等）
  3. 廃棄物処理に関する管理計画の策定（廃棄物削減・リサイクル率目標値の設定等）
  4. 廃棄物の分別・選別の徹底
  5. 廃棄物の発生抑制のための製造工程の改善
  6. リサイクルの容易化・処理の容易化・製品の長寿命化等を考慮した製品等の設計・製造
  7. 環境に配慮した物品・資材（千葉県リサイクル認定製品など）、サービスの調達
  8. 規格材・ユニット工法などの廃材発生の少ない資材・工法の採用
  9. 包装材・梱包材の使用量の削減
  10. 不要物の有効利用・有償売却の促進
  11. 他産業またはグループ企業との再生資源の受入・供給によるリサイクルの推進
  12. 従業員に対する教育の徹底
  13. 特に取組んでいない
  14. その他：具体的に
- 

②事業系一般廃棄物（紙くず、木くず、食品残渣等）の排出方法についてあてはまる番号に○をつけてください。千葉県内の拠点ごとに排出方法が違う場合は、最も排出量が多い拠点の排出方法をご選択ください。

1. 一般廃棄物運搬業者と直接契約（運搬・処理費用は量に関わらず定額）
  2. 一般廃棄物運搬業者と直接契約（運搬・処理費用は量によって変動）
  3. 自治体の回収に排出
  4. 自ら自治体の施設に持込
  5. その他：具体的に
- 

③千葉県内の支店や営業所等の事業系一般廃棄物の排出量について、コロナ前（H30年度）と比較してあてはまる番号に○をつけてください。H30年度の排出量が不明の場合は、貴社が把握している直近の排出量と比較してあてはまる番号に○をつけてください。

1. 増加している   2. 変わらない   3. 減少している   4. 把握していない

④事業系一般廃棄物削減のために行っていることとして、あてはまる番号全てに○をつけてください。（複数回答可）

1. 社内会議等でのペーパレス化促進
  2. 取引先とのペーパレス化促進
  3. 新聞や雑誌の購読中止
  4. プリンタやコピー機の削減
  5. ごみ排出量推移の見える化（グラフ化等）
  6. ごみ減量化の責任者等を設置
  7. 減量化の目標を数値化し管理する
  8. 経営層がごみ減量化の自覚をもつ
  9. 特に取組んでいない
  10. その他：具体的に
-

## 問8. サーキュラーエコノミーへの転換について

①サーキュラーエコノミー（循環経済）とは、これまで「廃棄物」とされていた製品や原材料等を新たな「資源」と捉え、廃棄物を出すことなく資源を循環させる経済の仕組みのことであり、EU が 2015 年に採択した「EU 新循環経済政策パッケージ」で提唱された概念で、欧州では既に多くの政府が国家政策の軸に据えて取組を進めています。日本では、「これまで進められてきた 3 R の取組に加えて、資源の投入量・消費量を抑えつつ、ストックを有効活用しながら、サービス化等を通じて付加価値を生み出す経済活動であり、資源・製品の価値の最大化、資源消費の最小化、廃棄物の発生抑止等を目指すもの」とされ、今後、関連した取組が進められることとなっています。

サーキュラーエコノミーについて、あてはまる番号に○をつけてください。

1. 全く知らない(初めて知った)
2. 概念を知っているが実践していない
3. 一部実践している
4. 全面的に実践している

②サーキュラーエコノミーは、「(製品等の製造から廃棄・リサイクルまでの間の) 廃棄物の発生や汚染の出ない設計とする」、「(資源を最大限利用するため) 製品や原材料として価値の高いまま循環させる」、「(再生可能資源の利用や天然資源の消費を抑制することで) 自然の保存・再生を図る」という 3 原則の上に成り立っています。

サーキュラーエコノミーに関して、貴社で取り組みそうな（実際に取り組んでいる）ことはありますか。あてはまる全ての番号に○をつけてください。(複数回答可)

1. 廃棄物や環境負荷の削減に資する製品・サービスの設計
2. 長期使用可能な製品・サービスの設計
3. 生産工程における端材などの削減・再生利用
4. 原料等の天然資源から再生可能資源への転換
5. オーダーメイド等による余剰生産の削減
6. シェアリング等によるサービスの提供
7. メンテナンスを含めた製品・サービスの提供
8. 中古品のリユース
9. リサイクルの推進(自社製品の回収、製品材料へのリサイクルなど)
10. 取組を実施していない
11. その他:具体的に

③サーキュラーエコノミーを実践していくにあたり、貴社における課題はどのようなことがありますか。あてはまる全ての番号に○をつけてください。(複数回答可)

1. 資金が不足している
2. 技術が不足している
3. 人材が不足している
4. 情報が不足している
5. 事業の利益に繋がらない
6. 顧客の理解や協力が得られない
7. その他:具体的に

☆その他ご意見等ございましたらご記入ください。

---

---

---

[質問は以上です。ありがとうございます。]